

令和3年7月14日掲載

熊本日日新聞 読者の広場 「若者コーナー」

3年 山本 心優（やまもと みゆ）さん

タイトル：「『全校ハイヤ』を新たな伝統に」

私の学校では、春の体育大会で天草の伝統芸能である「ハイヤ」の踊りと演奏に全校生徒で取り組んでいます。私は2年生の時の体育大会でグラウンドに鳴り響いた太鼓の音に魅了され、中学校最後の体育大会では太鼓の演奏に挑戦することにしました。いざ練習を始めると、基本的なリズムがなかなか覚えられず、帰宅してからも、その日習ったリズム打ちを何度も何度も復習しました。本番まで不安な日々が続きましたが、互いに教え合いながら練習を重ねるうちに、仲間同士の絆が深まるとともに技術が上達するのを実感できるようになり、練習が楽しいとさえ思えるようになりました。体育大会本番の日、すごく緊張したけど、保護者や地域の方々に「稜南ハイヤ」の魅力を力強く発信できました。観客の皆さんの大きな拍手によって、私は達成感で胸がいっぱいになりました。

ところで、体育大会での取組がきっかけとなって、その後も有志で「ハイヤ」の練習を続け、6月の「天草子ハイヤ」、10月の「天草ハイヤ道中総踊り」という大きなイベントにも出演し、銀天街や市役所前で仲間と息の合った演奏や踊りを発表できました。

私の学校では、生徒会で話し合って、学校で学んだことや身に付けたことを地域に発信することを今年から「稜南の風」と名付け、みんなの合言葉にしています。後輩にもぜひ「全校ハイヤ」を引き継いでもらい、「稜南の風」を地域に吹かせてほしいと思います。